

大住嘯風 （号） 評論家、明治十四年四月、千代東京生れ、大正十一年十一月十二日歿（二八二—一九三三）。講義岳、通稱岳。筆名嘯風生、大住舜。東京中學校卒業後ドイツ語を修學。大谷大學校教授となり、大正七年フランスへ渡る。パリに滞在して著述活動中肺炎に罹り客死。

編著書『秋風佳月』（嘯風生名、編、

明治二十二年六月十一日中村書房）、

『美又錦心繡腸』（同、編、明治二十

二年六月十一日中村書房）、レオ、ト

ルストイ著『性慾論』（譯補、明治四

十四年六月十八日精神修養社）、『現

實生活論』（茅原華山共著、明治四十五年五月十五日豊文館）、『現

代思想講話』（大正二年二月十五日丙午出版社）、『自然より人生

へ』（大正二年八月十五日星文館）、『新思想論』（大正二年十一月

二日陸東出版社）、『近代文明講話』（大正二年六月十五日星文館）、

『道なき慕心』（大正四年十月二十日健全社圖書出版部）、『生きこ

とすゝの努力』（大正五年四月十五

日東亞堂書房）、『自由思想史』（大

正五年九月十五日太政堂書房）等。

